

「佐渡島の金山」について

【構成資産】①にしみかわさきんざん ②あいかわつるしきんざんざん
①西三川砂金山 ②相川鶴子金銀山

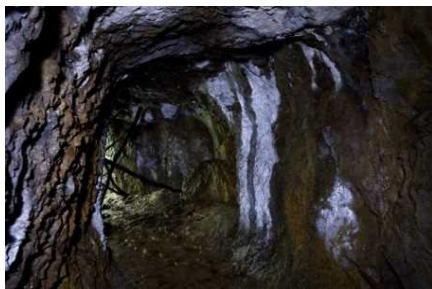
【概要】

17世紀における世界最大の金生産地であり、西欧の進出によって世界中の鉱山で機械化が進む16～19世紀にかけて、伝統的手工業による生産技術とそれに適した生産体制を各鉱山の特性に応じて深化させた金生産システムを示す遺構。

【暫定一覧表記載年】 平成22(2010)年



相川金銀山



鶴子銀山



西三川砂金山

